



令和3年度 学校だより

はがきた

第10号 令和4年1月27日

教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

令和4年が始まりました！

令和4年という新たな年となり、3学期がスタートしました。保護者の皆様にはますます御健勝のことと思います。改めまして、今年もよろしくお願いいたします。

3学期は元々短い学期ですが、1月が月末ですので、あと2か月ということになります。この2か月で、それぞれの学年を締めくくり、次の学年への準備をすることになります。特に6年生は小学校を卒業し中学生となります。6年生は、小学校生活を通して、心と体が大きく成長しました。とてもうれしく感じますが、もうすぐ卒業と思うと、一抹の寂しさをも感じます。これから6年生は、5年生に次のリーダーを託すべく、はがきた当番等の引継をします。そうやってよき伝統が受け継がれていくことにさらにうれしさを感じました。

コロナウイルス感染症は、残念ながら収束の気配が見えず、さらに拡大しています。やることは今までと同じで、「マスクをして、離れて、消毒する」、そして「換気」です。本校は感染者を出していませんが油断は禁物です。御協力よろしくお願いいたします。



大なわとび記録会!!

1/19(水)、全校児童による「大なわとび記録会」が行われました。この記録会は、1年生から6年生までの縦割り班でグループを作り競技するものです。縦割り班は2学期からの清掃班と同じで、業間を使って、何度か練習してきました。上級生が下級生に跳び方を教える姿がとても頼もしく、「さすが上級生」と感心して見ていました。大縄跳びが苦手な児童もいますが、回数にこだわらず楽しく跳ぼうと呼びかけられていたので、みんなが楽しそうでした。今までで最も多い回数が跳べたなどという声も聞かれ、とてもよい行事になりました。



スクールサポーターはがきた

毎週金曜日、清掃ボランティアとして、地域の方にお手伝いを頂いています。コロナウイルス感染症が拡大する中、来て頂くだけでも恐縮してしまいます。しかし、コロナ渦だからこそ、清掃や消毒はたいへん重要なことです。児童にとっても、一緒に清掃し、やり方を覚えるよい機会となっています。御協力いただいているみなさんに改めて感謝いたします。ありがとうございます。

読み聞かせ

1/18(火)の朝、教職員による読み聞かせが行われました。本校の児童は読書が大好きで、読書量が多いです。児童は、今日の読み聞かせも熱心に聞き入っていました。読書はとてもよい心の栄養です。さらにすすめていきたいと思ひます。

2月の主な行事予定

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1(火) 入学説明会 | 17(木) 3年校外学習(情報館見学) |
| 2(水) はがきた当番見習い期間(~2/18) | 18(金) 保護者会 1年家庭教育学級 |
| 3(木) 4年English Day | 5,6年親子学び合い事業 |
| 4(金) スクールサポーターはがきた | クラブ⑨(クラブ見学) |
| 7(月) PTA防パト委バス乗車指導 | 24(月) 町学力向上研修会 |
| 9(水) 北小タイム(表彰・講話)クラブ⑧ | 25(火) PTA広報委員会 |
| 11(金) 建国記念の日 | 27(日) 6年親子レクリエーション |
| 15(火) 読み聞かせ ブレインジム | 28(月) 委員会⑧ |



☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【大なわとび記録会】



【教職員による読み聞かせ】



【業間・授業の様子】



冬は寒い方がいい？

1/20に二十四節気の「大寒」を迎え、1年で最も寒い時期となりました。今年の冬は寒い冬と言われ、全国各地で大雪が観測されています。私は寒さが苦手で、いつも、早く暖かくなれないかなと思っています。ただ、以前(相対的なことですが)とは、冬の感じ方が違ってきます。

学生時代、寒さが苦手な私は冬が嫌いでした。冬になると外での活動が極端に減り、「こたつでミカン」ぐらいしか楽しみはありませんでした。そんな私が冬を楽しみにするようになったのは、初任の中学校で「立志式の記念行事でスキー教室があるからできるようにしておいて」と言われ、スキーを始めてからです。それ以来、同僚に教えてもらったり友人と楽しんだり、上手ではありませんが、スキーにハマってしまったのです。毎年、冬が来ることが楽しみになりました。今でも寒いのは苦手です。でも寒くなければ雪は降りません。苦手だと思ったままでは出会えなかった**冬の良さ**と**楽しさ**でした。

私たちは、周囲の多くの人たちと生活しています。多くの人と関われば、それだけ多くの考え方に触れることになり、それこそ苦手だなと感じる人が出てくるはず。しかし、誰もが様々な考えをもっています。自分と全く同じということはありません。その中で**その人の良さ**に気付くことができれば、今までと全く違う世界が広がっていくと思うのです。様々な人、もの、ことに対し「**多様性を認め、良さに気付く**」、今求められていることなのではないでしょうか。苦手だからといって素通りしては気付かないことがあります。**それぞれの良さを見つけられるように**していきたいものです。「**冬は寒いからいい**」んです。

付け足しですが、もう、四十歳後半となる私の教え子は、初めてで思い通りにいかなかったスキー教室が、修学旅行よりも印象深い思い出で、とても楽しかったと言っていました。本人にとっていいと思っていたことよりも、つらいと思っていたことのほうが後の人生の良き思い出になることがあるようです。子どもたちの成長を助長するために必要なものは、意外なところにあるのかもしれない。



※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。ぜひ御覧ください。